京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

コ氏と宣教師

米國觀察の途次此頃入京し四日退京安東縣に向ひたる北米合衆國著名の著述家コリヤー氏は在京中統監府及外國領事館を始め各方面を訪問したるが鋭利なる氏の觀察眼は忽ち彼の宣教師の行動に注がれ其弊害を剔抉して遺憾なきものあり氏曰く韓國に於ける外人宣教師非難の聲は屢々之を耳にせしが今實地に臨み尋ろ甚しき不快の感に打たれたり往年日韓保護協約締結當時彼の閔泳煥が國事を痛憤して自殺せるをゲール博士がトラヂカルインコレアと題する著書に於て之を稱揚して特記せるが如き其意那邊に在りと雖も基督教の教義を無視せるもの飽くまで愼むべき事に屬す即ち如何なる場合に於ても自殺は一の罪惡にして嚴に禁止する處なり然るに宗教的著書に於て之を引證して憚らざるが如き少くとも信徒を政治的渦中に誘致するものにして亡状も亦極まれりと謂ふべし又彼等が個人の紛爭に干與して私に理非の裁判を爲すが如き國家の司法權を蹂躙するの甚しきものとす其他布教の手段に供せん爲め頑迷なる思想を利用して排外熱を鼓吹せしが如きは其例枚擧すべからず斯かる行動は既に宗教家の範域を脱出せるものにして政教混同の非難を免れざるなり今茲に非難の聲を實地目擊して轉々痛嘆に堪へざるが然れども現在に於ては彼等自身も布教の手段として政治を利用するの不利益なるを覺知し稍々謹愼の状あるを認めたるは大に慶賀すべき事なりと云々

屠獸と屠場數

昨年中全國に於ける屠場は五百五十六箇所にして同屠獸數は實に二十四萬〇四百七十三頭を算せり就中各屠獸中多きを占むるは牛にして之に亞ぐは豚なり牛は總屠獸數の五割二分豚は同く四割殘る八分は犬羊及馬なるが其内犬は七分を占む尚は屠獸場の如きも屠獸規則施行以前に係りしを以て取締届かず規定屠獸場外に於て屠殺したるも鮮からず其比は屠場に於ける者六同場外四なりし

△一日の屠獸數 [illegible]需用最多き牛豕は一日平均全國を通じて牛三百四十二頭豕二百六十頭にして之を地別方に割當すれば牛は無論漢城首位にして五十五頭之に亞ぐは慶北の三十八頭京畿及平南の三十二頭慶南忠南の廿七頭餘黃海咸南全北の廿一頭等其主なるものにして他は全南、平北、忠北、江原、咸北の順序なり

▲豕の需用 は概して牛の需用少き地方に多きは自然の數なるへし其各地別は平南三十九頭第一に位し平北三拾三頭之に亞ぎ京畿廿六頭黃海廿五頭全南廿四頭江原咸北慶北咸南忠北忠南慶南漢城の順序にあり

●地方施政一新の期

敍次記載したる如く新たに任命せらるべき道郡主事中道主事二十六名は既に人選を終り目下任命の手續中にして地方費に依る土木勸業主事も本月十日迄には全部任命せらるべくも唯郡主事は目下漸く四十余名人選したるのみなれば全部の任命を終るは本月中には不可能なるべしと云ふ而して既に人選濟となりたる主事の履歷を聞く法學士にして高等文官試驗及第者あり法學士あり現任郡長あり元郡長の職を奉じたる者もありイ將來は法學士にして巡査たる者文學士にして韓人小學校の教師たる者工學士にして土方工夫たる者あるに至るべく其時こそ韓國施政の面目を一新する秋なるべしと

●鎭海灣軍港の設備

過般帝國議會の協贊を經たる鎭海灣第一期軍港設備は近々工事に着手の筈にて設計の實地調査として財部海軍次官栃内軍務局長、藤井軍令部次長、松本艦政部長、三須臨時建築部長等相前後して鎭海灣に向ひ實地の調査を爲さしめ之が結果として近く工事の着手を觀るべし尚は日本よりは建築受負業者等の入り込み居るもの多く爲めに馬山は昨今頗る景氣附きたりと云ふ

地方電報

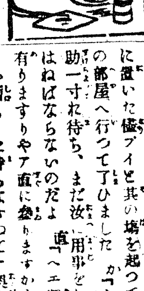
▲平壤通信

▲理事官の調停 平壤居留邦人中その重なる實業家の有志居留民團行政問題に就て民團理事者及び現在の民會議員と其の意見を異にする所あり之が爲め曩に有志會を開催し中には激烈なる根本的改革を提唱する者もありしが其後市有志の委員と職員は會見を遂げ双互の意見を交換し更に種々交涉する所ありしも其の意見全く一致せず委員等は覺に重なる市有志の意思を代表して民團行政の改革に就て其筋に建議する所あり而して之が結果は若松理事官その双者の間に立ちて調停を試むることゝなり市有志も議員も理事官の調停に一任したるに依り理事官は昨三日の第四十二回民會閉會後午後五時より有志委員及び民會議員を理事廳に招き市有志の主張たる民團税の減少、其の經營の縮少、其他に就ては今日の場合急に行ふべからざるも其の主張には理由の聞くべきものあるを以て今後成るべく其の方針の下に民團經營の步を進むるやう民團理事者に注意すべしといふ事に決着し市有志の委員も其意を諒とし終に略々その調停成りたるを以て理事官は同日午后六時より更に箕陽俱樂部に双者を招待して晩餐會を催したりと

▲韓銀金塊買入高 韓國銀行平壤支店に於ける四月中の金塊買入高は三十三貫八十八匁八分三厘計價格十二萬七千百〇三圓九十七錢なるが其主產地は朔州にして次で順安、殷山等あれど其產出は例月に比し僅少なりと而して同月下の有様よりすれば五月は尚著るしく產出增加し隨て買入も增加すべき見込なりと云ふ

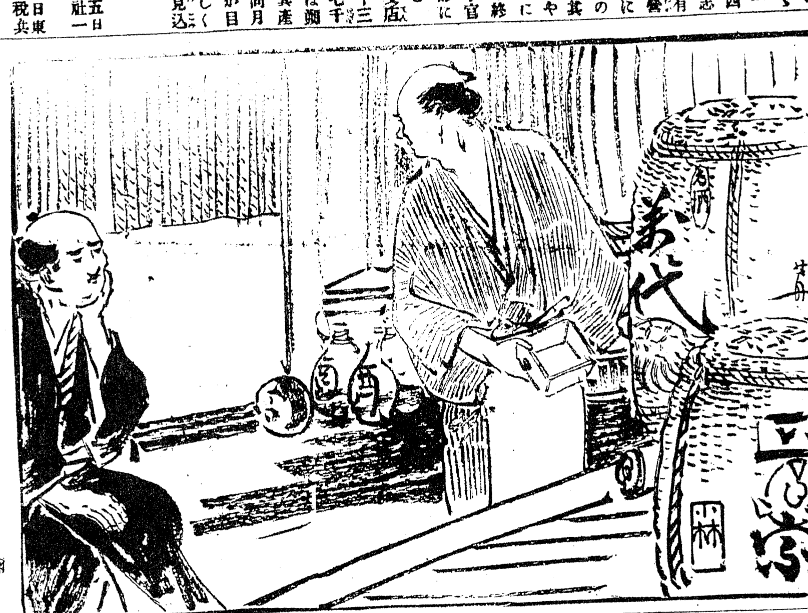
◎新刊紹介

▲法政新聞（第十二號）四月二十五日發行京城黃金町甲一番戶法政新聞社一部郵税共十錢
▲探險世界 五月號出づ 五月一日東京本鄕弓町成功雜誌社發行一冊郵税共十六錢五厘
▲東京經濟雜誌（千五百四十號）四月三十日發行定價十二錢東京京橋區彌左衛門町經濟雜誌社
▲富の日本（第一卷四號）五月一日發行一部定價十二錢郵税一錢東京日本橋區兜町二富の日本社



第百六席 津田近江之守（十） 邑井一講演

さて直助は歸つて參りました、臺所で肴の支度をして待つて居りましたかお殿は かぢ「直助、汝マア何處へ行つたんだね、大變に遲かつたではないか 直「ヘエ遲くなりました」か「何時行つたと思つて在でだ、最う汝二刻にもなるちやあないか旦那様は奥で以て直は未だ歸らぬかといつて大層待つて居らつしやる、斯う云ふ使ひを仕たら何うか早くしてお呉れよ 直「ヘエ誠に遲くなりまして濟みません」徳利を其の處に置いた儘プイと其の塲を起つて自分の部屋へ行つて了ひました か「オヤ直助一寸お待ち、まだ汝に用事をして貰はねばならないのだよ 直「ヘエ御用が有りますりやア直に參りますから、何うか暫らくお待ちなすつて」奥方も變に思ひまして、何だつて直助は彼の様な怖い顔をして居るのであらう、年の行かない者といふものは仕様のないものだと、仕方がございませんから御自身に燗を致し漸う一本のお銚子を燗けまして奥へ持つて參りました か「貴方大きに遲うなりましてございます。何うぞ召飲り遊ばしまするやう」兩眼を閉ぢて長息を吐いて居りました彌惣右衛門は「アヽーア……燗が付いたか、ドレそれでは一口飲まう」何う氣を紛らかさうと思ひましても氣が紛れません、心配内にあれば自然顔色も惡しくして、ニコッともせず盃を取りまして御家内に酌をさせて居りまするが、手先も自然とブル〳〵慄へて居りまする様子、奥方は心配相に か「貴方何か遊ばしたのでございますか、何うも御様子が變ではございませんか 彌「イヽヤ何うも仕たのではないが、恐ろしく胸が痛んでならないのだ か「何か御心配なことでもございますか 彌「イヤ〳〵何も別に心配なことはないが今日のやうな厭な日はない、酒でも飲んで氣を紛らかさうと思つてな、それで汝に此様な無理なことを云つたんだ、汝も一口お飲り」たゞ何事も云ひませず無念を耐へて酒を召飲つて居らつしやる折から取合の唐紙を開いて下郎の直助が怖い顔を仕ながら其處へ這入つて參りました、平生滅多に案内を仕ないで這入つて來るやうな男ではないのでございますから御夫婦はハッと驚いて 彌「何だ直助汝は何うかしたのか 直「ヘエ旦那様に願ひがあるのでございますが 彌「何だ願ひがある何だ 直「他でもございませんが私も長らくの間御當家に御奉公を致して居りましたが、何うか今日限りお暇を戴きたいのでございます か「コレ直、汝はまア何故其様なことを云ふのだね、義理にも其の様なことが云へたものではあるまい、汝は十一の歳に兩親に死別れ身の置き所のない身体であつたのだよ、それを旦那様が不憫だからと仰しやつて、此のお屋敷へ連れてお歸り遊ばし背丈も延びて夫れだけになつたのは誰れの御蔭だと思つて居る先刻から何も云はないけれども、お酒を買ひに遣れば二刻も掛かつて、平生なら旦那様が小言でも仰しやるのだが、氣分が惡いと仰しやつて何にも仰しやらぬ、妾が用事を吩附けてもプリ〳〵いたして、其の儘勝手に其の塲を起つて了つて、何だね突然に踏み込むなんて 直「ヘエ何うも勝手なことを申しますやうですが、實は奉公が厭になつたのです 彌「直、汝は妙なことを申すな、平生から其方は此の惣右衛門に何と申して居つた、私の身体は生涯貴方の爲めに御奉公致します、一生涯屋敷を出ないと云つたではないか、夫れを家内が使が遲いと叱つたと云つて直ぐに暇を呉れとは何事だ、此方では手前のやうな義理知らずに居て貰らはなくとも少しも困りはせん、困りはせんが何だつた急に暇を取る氣になつたのだ、家内が小言を申したのが氣に觸つたのか。



東京電報

▲外債成立と調印
倫敦に於て外債一億一千万圓成立調印を了せり(五日)

▲内債償還の發表
整理公債五月卅一日、軍事公債、臺灣事業公債六月廿日、五分利付公債七月卅日、倫敦にある五分利付公債七月一日償還する旨發表せられたり

▲平田内相地方出張
平田内務大臣は明日午前新橋發名古屋に向ひ同地に於て產業組合大會に臨み岐阜、福井、富山、石川、和歌山の各縣を巡視すべし(同上)

▲伏見宮の御消息
伏見若宮殿下にはヨウクハウスセイアに御安着五月十日御渡英十二日日英博覽會開會式に御臺臨あらせらるゝ旨加藤大使より公電ありたり(六日)

▲學制案と懷柔策
學制改革案に對する高等教育會議の意向は未だ決定に至らざるが文部省は此が通過に關し懷柔運動を開始したり依つて原案を可否するも文相の責任問題起るべし(同上)

▲朝香宮の御婚儀
富美宮朝香宮兩殿下の御婚儀は今六日宮中賢所大前に於て舉行せられたり賢き邊りにては松方侯爵が齡已に古稀に達するも夫妻健全なるを嘉みせられ同侯に特に祝典に參列の榮を賜はりたり(同上)

▲五歩利債の償還
政府は五歩利公債殘額一億九千五百萬圓償還すべく發表されたり(同上)

▲元老大臣の忙劇
山縣公を始め各元老大臣等は重要なる國務に就き往復協議を凝しつゝあり頗る繁忙を極む(同上)

▲罹災者救恤品下賜
青森の大火に就て聖上陛下には深く御軫念あらせられ實況視察として侍從御差遣の御沙汰あり同時に罹災者に對し夫々救恤品を下賜せらるゝやに拜承す

▲西班牙海軍の同情
西班牙公使館附武官は同國海軍の名を以て第六號潜水艇遭難遺族に對し金百圓の寄贈を申出でたり(同上)

▲御婚儀の列國祝電
朝香宮御婚儀に就き英、獨、露、佛を初め各國より鄭重なる祝電來れり(同上)

▲帝國教育大會開催
帝國教育大會は本日名古屋に開會文部省諮問案及各教育會提出案に就き審議せり

歐洲電報

▲獨帝と獨逸宰相
獨逸宰相ベートマンホルウエヒ氏は或る重大なる政務に關し目下ウイスバーデンに御滯在中なる皇帝陛下に上奏の爲め數日の豫定を以て同地に向ひたり(六日)

▲丁抹のル氏歡迎
米國前大統領ルーズヴエルト氏は丁抹コーペンハーゲンに於て國王の禮を以て迎へられたり(同上)

雜錄

韓皇帝の御祝電
昨六日朝香宮殿下御婚儀に對し韓皇より天皇陛下に左の祝電ありたり

朕敬祝富美宮允子内親王殿下與朝香宮鳩彥王殿下婚儀並懸祈貴皇室隆昌

朝香宮の御謝電
去る四日朝香宮鳩彥王殿下に大勳位金尺大綬章を贈進相成たるに對し同日午後同殿下より韓皇に宛左の御禮電ありたり

本日余に貴重なる最高の勳章を贈らせられ皇太子殿下より御傳達を被り感謝の至に堪へず謹て御禮申上ぐ

教育の前途奈何
官吏崇拜の餘習は今尚ほ韓人の腦裡に蟠屈し徒に三槐の高きに思を繫る者單に縉紳華冑の徒に止まらず茲に最も憂ふべきは新教育に對する一般彼等の迷想なり由來新教育の精神は固より健全なる國民陶冶の機關なるを一般は尙は官吏養成場の如き眼を以て迎ふるの觀あり夫の工業傳習所の如き韓國に於ける唯一の實業教育機關にして殊に當局者の注意深き比較的高等なる科程を課するにも拘はらず時に傳習所の如き卑凡なる校名を附し實業の尊ふきを暗示せし程の事なるに入學者の多くは尙ほ同所を以て役人登龍の道場に擬せんとせり既に本年の如き入學志願者千を以て算し一面實業思想勃發の好潮の如きも眞相は反て上敍の因由に基く事を知らば誰か啞然自失せざるものあらんや京城にして尙ほ斯の如し他地方に至りては實想像の他にあり就中殊に笑ふべきは僅に初等教科を終へたる者にして直に主事程度の官吏に採用さるべきものと誤信し得々として當事者に採任を迫る者鮮からず爾く新教育に對する官吏熱は蓊然として到處韓民の思潮を支配するに至りしも社會の趨勢は除儀なくも彼等の志望を容るゝ能はず轗軻不遇に懊惱せる多くの失望の聲は遂には不平の聲と化し其極新政を罵り排日を唱ふるに至る其情や洵に憫むべきも其聲や恕すべからず今に於て相當是が策を講じ戒飭の法を採るにあらずんば折角の新教育も反りて險惡なる結果を釀するなからんか大に當局者の覺醒を要すとは近時地方を巡視して歸來せる某當局者の語る處なり

國債借換の計劃
韓政府が貨幣整理を計劃し光武九年六月第一銀行より之が資金三百萬圓借入を契約し其最終償還期は隆熙九年六月なるも半額は本年六月を以て還償すべき筈なり然るに該金額にては紊亂せる幣制整理の一端だも遂ぐる能はず爾後第一銀行の政府勘定は右整理資金として別に八百萬圓の貸越を示すに到れり而して其利率は年六分にして年額六十六万圓の巨利を國庫は負擔しつゝあるが韓政府の財政狀態に於て此巨額の負擔は頗る苦痛にして啻に邦人に追饋の感のみならんや若し夫れ世界金融界の大勢は客年來非常の緩慢を極め金利は倍々低落して現に吾が日本政府は四分利公債の借換を斷行し而かも屬々として成立せるの好況に在り度支部當局の形勢を觀望して遷延措く能はず茲に荒井度支部次官は低利借換の希望を齎らして大藏省と交涉の爲め東上せり因みに韓銀成立後八百万圓の貸越額は第一銀行より韓銀へ引繼がれたるも國債三百萬圓は依然一銀關係なりと云ふ

韓國債の現在高
韓國政府が現在有する國債の總高は四千四百五十三萬七千九百九十八圓八十九錢七厘にして今其の内譯は左の如し

	種類	金額	利率	起債
一、	國庫證券	一,000,000	七歩	光武九年六月
二、	貨幣整理資金債	三,000,000	六歩	同上
三、	命融資債	一,五00,000	無利息	同年十二月
四、	第一起業資金債	五,000,000	六歩五厘	同十年三月
五、	同上第二	三,九六三,九二〇	同上	隆熙二年十二月
六、	起業公債	一,000,000	六歩	同上
七、	日本政府借入金	二,六六二,六三三	無利息	……
八、	貨幣整理資金借越	八,三九一,四五五	六歩	……

△据置年限 一、三ヶ年 二、六ヶ年 三、六ヶ年 四、五ヶ年 五、十ヶ年 六、五ヶ年

△償還最終期 一、隆熙四年六月 二、隆熙九年六月 三、同六年十二月 四、同十年三月 五、同二十七年十二月 六、同十七年十二月

△借入先 一、日本國内募集 二、第一銀行 三、大日本政府 四、興業銀行 五、同上 六、大藏省預金部 七、大日本政府 八、韓國銀行 九、同上

●釜山港の製氷開始
度支部經營釜山漁港の一部事業たる製氷事業は同港完成迄の期間を限り朝鮮水產組合に保管委託されたるに就き同組合に於ては去四月廿日愈製氷開始の運となり其後引續き事業繼續中なるが同据付機關は六噸二臺にして目下は時節柄唯其一臺のみを使用し居れり從來日本より同港に輸入されたる氷類は三百萬斤を降らず尙は價格の如きも百斤一圓七八十錢に上りしも同製氷開始以來は從來の日本輸入は全く杜絕し且つ價に於ても七十錢程限の規定なれば水產業者の潤澤は蓋し鮮少ならざるべし

●内部大運動會準備
内部大運動會は既に夫れ〳〵準備整頓せるを以て豫定の如く七日獎忠壇に於て開催すべきが會員は家族とも無慮千余名の多數に達し頗る大規模の大計畫なれば定めて盛會なるべし而して當日委員は午前七時に一般會員は八時に集合して直ちに競技に移り正午模擬店を開きて觀覽者に供し各種の餘興ある筈

●道費豫算査定會議
各道本年度豫算總額は四十六萬三千百十九圓なりしが内部は之が配付方に就き種々故障の爲め未だ決定するに到らず今日に到りたりしも漸く五日澤田地方局長主となり關係各局長を召集して査定會議を開き夫々決定する處となり

●鑛業出願者の激增
近來暴徒の出沒漸く減少し内地旅行の安全となりし爲めか鑛業出願者激增し一ヶ月平均百件以上に及び此登錄料其他手數料等を合せ一萬圓以上に當り三月の如きは實に一萬六千圓に達せり

●韓國在留の獸醫數
目下韓國に在留する日本獸醫の數は最近某筋の調査に依れば五十二名にして之を道別にすれば京畿十八、忠北一、慶北三、慶南七、全北三、全南二、黃海三、平南三、平北二、咸南三、咸北七なりと而て此以外に間島に一名有と

●休刊中の大東共報
久しく内部の紛擾の爲め餘儀なく休刊せし浦港にて發行せる排日紙大東共報は又々再刊せしものと見へ第十四號を配送し來れり例により危險の文字を滿載せる爲め五日發賣頒布を禁止せらる

●商工調査愈々着手
農商工部商工調査は各地との連絡統一方に就き準備調査中の處漸く決定せるを以て主査伊藤事務官は主事一名を隨へ七日五十日間の豫定を以て慶尙南道釜山其他各地へ出張する由なり

●東拓會社員の交迭
東拓會社に於ては今般社内の交迭を行ひ左の如く任命を爲したり

命殖民課長 松田四郎、命經理課長心得 永井惟直、命地所課長心得 安藤義喬、命土木課長 木村英俊、命殖產課長心得 谷井恭吉

●龍山署長の更迭説
龍山警察署長警視上村豐助氏は東部警察署長に轉任し其後任には今回昇任せる警視谷川金一郎氏補せらるべく既に内定し近々發表せらるべしと云ふ

●石塚長官の招宴
石塚長官事務取扱は六日午后六時半より翔翠樓に久水理事官三浦理事官秋本理事官松本理事官、岡本技師、坂出技師、藤原書記官、平渡書記官、國分參與官、中山書記官、藤波通譯官、入江書記官、今村書記官等を招宴したりと云ふ

●韓人敎報の差押 今回布哇に於て發行せる韓人敎報と題する第五號第三號雜誌は治安妨害の旨を以て其の差押を命ずる趣を其筋より公電ありたり

●村田技師の出張 農商工部鑛務局村田技師は製鐵所技師服部氏と共に製鐵所鎭南浦出張所設立の用件を帶び七日朝出發鎭南浦に向け出發の筈なりと

●龍山小學運動會 龍山民團立小學校に於ては來る十五日運動會を催す由

社會小言

▲聖上陛下 板垣伯多年の功勞を思召され賜ふに二萬金を以てせりと、惟ふに目錄や大ならずと雖天恩や深し不運なる老伯も此光榮を擔ひ感泣の極大に若返りしならん。

▲近者早稻田大伯の爲に陞爵を奏請し今亦板伯の爲に賜金を奏請す、桂侯の爲す所官鑑に浮木を與ふ、聖德爲に揚り國民爲に悅ぶ。

▲往年の退助や敍爵の御沙汰を固辭す今の板伯や賜金に感泣す、扨も變れば變る者か、若し夫れ父平四郎の勳功に因り敍爵の御沙汰を拜せんとせし横井時雄は若鬘の心を以て之を固辭し其後方向を誤まつて今の境遇に墮つ、板伯の不運や悲しむべしと雖横井に比せば多幸。

▲往年三田の聖人に敍爵の事あらんとす、聖人謝ふて敍爵を賜金に擬ず、而して其賜金や慶應義塾の基金となり以て育英の資となる、嗚呼高風や之れを板伯に見ずして寧ろ町人諭吉翁に見る。

▲理財の途を解したる早稻田伯と福澤先生とは晩年最も振ふ敬宇先生と板伯とは然らず、有機物の活動は營養に存す二人此理を忘る後進共に戒むべし。

▲近く米國より歸れる韓人基督敎青年會の總務チエレット君記者の許に來る、談偶百萬人傳道の事に及ぶ、記者ヂ君に向つて曰く君等傳道者が百萬の韓靈魂を救はんとするや未なり、何にすれぞ夫れ曾禰統監以下に布教を爲さゞるやと、ヂ君默して聞く而して答へずして去る。

●司令部員汐干狩 六日軍司令部員二十七名は仁川に到り汐干狩を催せり

邦人の煙草耕作(續)
(荒井技師の談)

仁川附近牛角洞に於ける煙草耕作は光武十年仁川港煙草製造業玉田與作の自家製造原料に充つるの目的を以て創始せるものなり

釜山進永は隆熙元年則ち明治四拾一年始て耕作せり

定州邑に於ける同耕作の起原は山口縣人雜貨商武田重兵衛の計畫に胚胎せしものにして日人は數年前より居を此地にトし微かなる雜貨を商ひ居りしが薄運にして蠶種の企畫に失敗し加ふるに病魔の爲二愛兒を失ひ身又た頽齡に近きも他に老後を托すべきの身寄もなく頗る悲境に沈み居りしも一朝悟る處あり斷然志を立て身を煙草耕作に投せんとの腑を固め二三同志料合中不圖憲兵須勝鑑之亟なる者滿期退職歸國の途次武田翁と邂逅し一旦遂に共同經營の談成り遂に今日の素地を爲すに至れり

▲日本人耕作數及反別 隆熙元年及二年に於ける邦人耕作人員及反別如左

產地	隆熙元年 人員	隆熙元年 反別 町反	隆熙二年 人員	隆熙二年 反別 町反
大邱	六三	三〇、五	一〇〇	八〇、〇
東村	八	四、五	三三	二〇、〇
釜山	三	二、〇	…	…
三浪津	一〇	三、五	一〇	二〇、〇
龜浦	一	一、〇	一	一、〇
進永	一	一、五	四	一、〇
萊砂	一	一、〇	一	一、〇
牛角洞	一	一、〇	一	一、二
太田	四	、五	二	、二
定州	…	…	一	四、三
密陽	二九	二六、〇	四五	五〇、〇
其他各地	…	…	七九	三〇、四
計	一二〇	八〇、五	二八二	三九、二

東拓擴張と社債

東拓會社金融部擴張に伴ふ資金調達方に就ては宇佐川總裁東上の上大藏省と交涉を遂げ決定すべき筈なるが其金額は幾干を求むべきか又内外債孰れに依るべきかは素より金融界現下の狀勢と相應せざるべからず而して一方韓國の如き不問時のものありと雖も一般の放資期は多く春期に屬し偶々水利事業要資事業は既に其時期を經過し去れるものと見て可なり則ち資金の調立成立するも直ちに需要を喚起し來る譯にあらざれば徐ろに大勢を看取して募債を計畫するも遲からず又放資先も豫め決定せる次第に非ざれば彼の韓政府對興銀關係の如く必要に應じて之を回金するを便とし必ずしも一時に其總金額を要せずと云ふ

實業團の來京期

近藤廉平氏以下の觀光實業團は八日入京の筈にて人員は近藤廉平、大谷嘉兵衛、土居通夫、大橋新太郎、瀧川辨三、鈴木宗兵衛、永井久一郎外に部員五名

●黄海道方面の水産
黄海道沿岸は他の西海岸一帶と同じく潮汐干滿の差甚しく潮流又急にして且つ干潟の區域最も廣く漁業上より觀察せば概して操業上不便の地域にあるか如しと雖も之が干潟に生する各種の貝類は其繁殖最も多く例令は牡蠣、蛤、マテ貝、淺蜊貝、汐吹貝等は各地至る處生產せるの狀況なり殊に龍湖島以西白翎島大靑島小靑島等の如き漁場に於ては殆んど各種漁業に對して周年漁業を經營し得るの地なるにも拘らず從來本道は暴徒の出沒すること有名なる地方にして危險甚しき爲め日本漁業者等も入漁するもの少く從て此方面に於ける漁業經營の發展を見る能はざりしも今や暴徒の往來も稍其跡を絶ちしが如き狀態に至りしを以て之等に躊躇せる日本漁業者の如き大に進んで之を開拓經營するの必要あるを感ずるのみならず殊に延平列島に於けるグチ漁業の如き長山串方面に於ける大刀魚漁業の如き狀態あるも前者は朝鮮人にして一箇年十萬圓以上の漁獲を爲せる好漁業に屬し後者は支那密漁船數十隻密集して太刀魚釣りを爲し毎日平均一隻につき十圓以上の漁獲を爲し得たる地方なるにより之等に適用すべき漁具漁法を應用して其經營を爲すに於ては意外の遲利に逢着する事あるべしと(庵原技師談)

●民團招魂祭の盛儀
京城居留民團主催の日清日露兩役戰死病歿者の招魂祭は豫報の如く六日午前十時より倭城臺に於て執行されたり定刻祭式先づ三宅宮司の祭文朗讀より次て大久保軍司令官石塚長官及松永第二師團長榊原憲兵隊長國分參與官古城民長山形中佐中山書記官其他民團商業會議所議員新聞記者等參拜せり尙は當日は軍司令部師團司令部憲兵隊の各將校及中學校女學校小學校の各生徒無慮三千余名の參拜者あり盛儀を極めたり

●龍山居留民會開會
五日午後八時開會出席者は執行、大村、國井、藤野、阪、川田、林、松本、渡邊、竹内の十議員にして執行議員議長席に就き議案たる課稅等級の件に就て議する處あり全部議了するに至らず十二時閉會尙六日も引續き開會せり

●洪紳父の長官訪問
過般兇漢安重根に最後の慰安を與へんか爲大連に出張したりし洪紳父は五日石塚長官事務取扱を統監府に訪問せりと

●小倉主計監の消息
西韓地方に出張中の小倉主計監は五日午後二時三十五分白馬驛發列車にて新安州に向へる旨其筋に通知ありたり

●ハリス博士の訪問
目下滯京中なるハリス博士は六日統監府に石塚長官事務取扱を訪問したり

●大倉喜八郎氏消息
五日午後三時黃州發の列車にて大倉喜八郎氏は安東縣に向け出發したりと

●山根正次氏の入京
内部衛生事務囑托山根正次氏は七日午後八時十分南大門着入京せらるべし

公人私人
▲松尾幸太郎(平壤農林學校教諭) 入京の處去る五日出發平壤へ向へり

▲加藤勝之進(憲兵中尉) 同日春川へ

▲時枝書政(同上) 同上鐵原へ赴任す

▲野木傳三(水原模範場技師) 同上歸京

▲石川令輔(大邱財務監督局事務官) 去る五日入京し不知火旅館に投宿せり

▲水口隆三(平壤監督局事務官) 同上

京龍合併問題成行

京龍兩民團合併問題は曩に民會議員協議會の付託せる調査委員等により既に之を可決報告せるが其後議員全部の協議會を開きたるも遂に流會と成れる儘目下寸前暗黑の狀態に在り然れども大勢は既に合併に決し最早動かすべからざるの勢に在るも賛成側に對する市民の感情は兎角背馳の傾向あり現に過日衛生組合長五十餘名某處に集合して該問題に關し議論する處あり其際京龍合併は居留地の大問題にして必ずしも議員の行動のみに委すべからず則ち一般居留民の利害休戚に關する事なるを以て此際市民大會を開催して與論の歸向を示めさんとするに決し目下其準備中なり而して市民多數の意向は合併非合併は第二として合併側に多少私利的動機あるを認め之に慊焉たるもの〻如く今其點に就ても各自調査中なりと云ふ然れば合併側に於ても此際意見のある處は腹藏なく之を公表して一般市民の納得を買ふ事肝要なるべし(電通)

▲治外法權▼

日韓瓦斯電氣會社は附屬事業として馬山と釜山に電燈事業を開始せんと計劃中だソウだ、此分で行くとイヤに大邱、鎭南浦、平壤元山等あらゆる都市の電燈事業を一手に占める計劃をやるかも知れぬ、韓國の樣だ、扨之に利益が伴ふか否かは疑問だ▲某氏の談に因れば日韓瓦斯電氣電燈事業の一手占營、一寸聞けば雄大だが京城の仕事も碌々出來ぬ癖に矢鱈に他に手を擴げんとするに就ては三ツの理由があるのだソウだ、先づ第一は曾禰統監が辭職せぬ前に會社の使用人なる統監の伜寬二さんの因緣を以て出來得る丈多く電氣事業の特許を取り置くと、第二は取つた特許を材料にして株の直段を吊上げ重役某々等が株相場で儲くる爲、第三は專務取締役某が發電器や針金や電柱其他の買入れ及工事費のコンミッションをセシムる爲▲聞けば小僧の寬二さんは愈七月限り日韓瓦斯東京の本社詰になるとの事だ之は体の良い退社だ、其理由は小僧さんが黄金町邊の商人や何かとあんまり仲良くして會社の用品を態々高く買つてやるが▲大岡京日子は桂侯を三度訪ねて三度斷はられたと得意氣に吹聽をして居るが桂侯は人に門前拂を喰はす樣なソンナ無愛憎な事はしない筈だ、尤も桂侯とて用のある人間サカに大岡君の骨董談を聞いて居る暇はあるまい。



名妓洗髪のれ妻（三）

▽馬鹿げた明烏ゴツコ
▽れ坐敷はスツポカシ

私が矢張日吉町に居た頃花の家の二階でゝした、兩人で何の話の末か忘れましたが**時次郎**を思つてゐた**浦里**の心は何んなだつたらうね、乾度私が心のやうだらうじか、浦里に希り込んだ時次郎の**氣持**はれつきに首ツたけな俺は知つてるよなんか、もう／＼他愛もない、勝手な事を言つて痴話けた後、それなら一つ**明烏ごつこ**をやらうぢやないかやりませうと云ふ大變な相談、宵の口でしたがもう表は冬の日の暮れ易くトツプリと暮て暗くなつてゐまして、空は何うやら**雪模樣**、チラ付いてはゐませんが、れ訛へ向でさあ、女中を髪結の宅に走らすやら急に使を出して市村が梅助嘉助なんかいふ弟子達を呼び迎へるやら、一時の騒、私は髪結の奴といふのが來るのを待ち受けて、早速の花魁髷、一体私は髪に油を附けるのが嫌ひな性分でサバ／＼の洗髪、此んな處からも私は洗髪の名が續いたのでせうね、夫れで二人はチビリ／＼**臺の物風**なれ肴で飲んでゐました、頃は好し大引け近く、さあれ引けといふのでしたが、此れからが大變でさ▲私の着付は**白縮緬の湯文字**に緋の長襦袢、扱帶から何にから總て花魁好みで、市村は何んでも大名縞か何かでしたがね、宅の**女中**れきよが**遣り手**といふ役割でした、二人共醉つてゐるのが少々ぢやありませんでしたので、梅助に嘉助來い誰れも彼れも來いと呼び立て、家内中を周圍に集めて本統に馬鹿を盡しましたね▲私は稼業をしてゐて、れ約束の**れ座敷**なんかも**スツポカシ**、斯んな事をしてゐるのですもの彼此人々から苦い事を聞かされましてね、何うしても二人は分れさせねばならぬ、二人共あれぢや末が立たぬなど噐しくなり、遂う／＼此間亡くなつたれ母さんの阪東れとみさんなんかが心配して、何うかして分れさせやうといふ事になり、**縁切榎の悲劇**の一段となるのですわ、夫れが又可笑しい事になつて了つた▲花魁ごつこの話はホンの一例で**兩人**は夫れは夫れは**檢束の無い**こと夥しい、れ酉さまへ暮も押詰つた三の酉に出かけて行つて大金で二人が**グデン／＼**に醉つたり、川崎へ行つたり、東京離れては一層勝手な事をしましたね、

郵便所長の處刑

▽懲役四年と決定す

元新町郵便所長島田定助が醜行爲即ち彼が豫て知合なる深田由次郎の實兄深田某より仁川仲町村田善吉宛に送り來り更に善吉より島田に送り來りたる由次郎所有の價格百圓に相當する漁網を由次郎の爲めに受取り之を本町岡田質店に八十圓に入質し及新町郵便所長在職中自家の**家族**若しくは虛無の名義を以て**郵便貯金**を爲したるが如く**通帳**に巨額の金高を記入し之れを**抵當**に數箇所より**多額**の金員を**騙取**したる官文書僞造行使詐欺取財及橫領事件は京城地方裁判所に於て懲役四年に處せられ不服を申立て控訴中の處**控訴院**に於て前裁判通り確定し未決拘留日數百廿日を刑期に算入す可き旨言渡し判決に服從したりと

懸女房仕出し据膳

▽男と湯文字は新規に限る

男は女房と疊は新らしいのが宜いと云ふよ女だつて左樣だワ亭主と湯文字は新らしい程肌障りが宜いのよアラ嘘ぢやなくつてよ眞當だつて事さ現に妾か斯うしてれ前さん所へ逃げて來たのが證據ぢやないかよ……れ前さんも男らしくもない確乎れしな苟且にも亭主持ち…出前仕出しのれ膳を据へられて跡が五月蠅なんて考へてゐることがあるものかね嫌だよ此の…は……早くれ食べよれ喫りよう恐圖／＼れ爲なら此のれ膳は他所へ回すよ……夫れは厭だつて夫れなら一口れ喫りよ此の温氣だから宵越しはチト險呑だアねと所は本町八丁目の小野與一方に據り込み姦通を強請し應せずんば又他所を尋ねて見んと血相變へ息を喘ませて與一の膝元へ詰め寄れる女と云ふは當時旭町一丁目十二番戸大工職笠原伊助の內縁の妻きんと云へるものにして元來同人は去る四十年五六月頃より當地にて酌婦稼業中伊助と馴れ染め先頃遂に身受けせられ同棲中急に昔馴染の與一か戀しくなり去る三日家出したるものなるが家出したれきんは覺悟の上なればサツども驚かねどされた伊助は往來で猿鼻褌を落した程に驚き飲まず食はず尋ね回つた末前記與一の所に居ると判つて猶は叱驚是れは適切り酌婦時代の舊交を温めたり暖めたり燕したりふかしたりして居るに相違なしと云つて迂濶に踏み込めば撲されんも知るべから平常高い税金を拂ふて居るのは斯う云ふ時に御厄介になるが爲めなりと一應至極尤もな考へを起し鍾洞分遣所に轉け込んで何卒れ政府の御威光を以ちまして女房が手許に戻ります樣少々は使つた跡でも結構で御座いますと切に伊助さんの兩名を呼び出し取り調べんとしたるにきんは早くも夫れと知りて逃亡せしより伊助丈けに付き取り調べたるに現在は女房にしてその請求は受けたるも斷じて醜關係は成立し居らざる旨言明したるより先づ其方は安心したるも肝腎の當人が何處へ行つたか判らんとあつては結局何んにもならぬ話し間男はしても宜いから歸つて來れればよいと打ち萎れて引き取つたさまは少々頭が甘い樣なり



女振り

大和軒內儀 仙波やす女

大和軒と、丈け云ひ切つては分明るまいが京城郵便局前の菓子屋のと云へばウン彼れかと點頭かれる筈だ、生れは投げ節子の「粗末にやならぬ」と唄つた芝ッ兒である、幼い時分かられ屋敷奉公をして左樣然らばの三つ指仕立て、今でこそ貫目で買つた方が得の樣に肥つて御座るが其の時分のれやすさんは撫で肩柳腰の好いたらしい娘振り必ぞ生命と打ち込んだ土地の若い者も少くなかつた、が出雲の神は之れを現の大和軒主仙波君と結び附けた、夫れには誰れも不服はなかつた然るに獨り舅さんは不服を唱へた、と云ふのは何分れやすさん年は若しれ屋敷から下りたてではあるしするので、相變らずの左樣然らば三つ指突いての「自らは然るべう存じ」て居るので町家に育つた父ッあんイヤ八釜しい、町人の嫁が然るべう存じて居て堪るものかさ併しれやすさんは辛棒したのだ、と迄申したら何んな人かは判るだらう現在の所は店頭で實驗を願ひたい、アノ体格だから無理はないが先日も子宮を上げたので例の紅梅燒屋のが少しの間手傳つて居た、年は三十六所だらう、何方かと云へば少々利かん氣の方だ、氣性は淡白したものでガミ附いても跡に根がない、實用的の好いれ內儀である。

● **狩獵者の不注意** 廣島縣平民當時太平町一丁目二十八番戸石川照一（三二）は五日午後五時頃狩獵歸りの獲物を携へ南大門通り二丁目韓人店に至り販賣の談判中裝彈したる事を打ち忘れ一寸立て掛け置きしを韓童が引鐵に戯れしより發彈したるが幸ひに銃口下に向けありし爲め負傷者はなかりしも所部署に於て一應說諭の上放免

● **錢無の藝妓遊び** 仁川新町一丁目奴亭に就て一昨日午後七時頃自稱東京生れの活版職工西山茂（二四）と云ふが樂亭より丸八を聘びて散々亂痴氣騒ぎを演せし揚句四圓四十七錢の勘定が出來ず遂ひに仁川署より警官數名出張して本人を署に同行取調中なるが同人は俳優と欺稱し白石旅館に投宿中の者なりと云ふ

● **韓娼玉代の悶着** 南部藝洞人夫業李殷化（三三）は五日午後九時頃南部山林洞酒商金元煥（四七）方に登樓娼婦相手に飲んだ揚句玉代五十錢と自分許ヶの考へで同衾し歸る段となり五十錢支拂ひたるに金は二圓が定價なりと請求し李は五十錢なりと云ひ悶着の末遂に南部署韓人警部の裁判で一圓に折り合ひたりと

目と耳

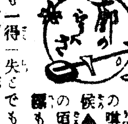
● **淨土青年會講話** 五月七日午後八時より明治町一丁目淨土宗開教院に於て開會せらるゝ同會の講話左の如し「佛教倫理」水谷開教師「不倒翁の與ふる教訓」橫江開教師

▲ **歌舞伎座** 木村一座今七日の代り狂言は故川上眉山氏作「觀音岩」全六幕にして蝮の權太は例に依つて猛夫が凄い所を見せる筈なれば見落して後悔あるべからず重なる配役は左の如し

村井智惠子、權太娘た豐（君子）萩原糸子（萍華）とみ（靜子）よし（豐子）奥花晴子（石井）女中れ竹（千葉）大田（千代田）馬鹿太七（渡邊）妓夫（岡村）小二郎（高田）醫生（村山）奥住正哉（內田）下女（奥山）石卷林三（福澤）下男辰造（富士井）書生（小出）大野重太（榎本）萩原彌十郎（寺田）社員（東）新屋平助（三好）石卷れ幸（白石）れどり（廣瀨）石卷左衞門（桃井）蝮の權太（木村）

▲ **煙火の好評** 歌舞伎座に開演中の木村猛夫一座は毎夜大入に至り仕掛け煙火を用ひ居れるが是は態々內地より技術者を呼寄せたるものにして仕掛も一樣ならず頗る好評を以て迎へられつゝありと

▲ **壽座** 同座今七日の替り藝題は一番目「雲井鶴上野の初花」四幕中幕は「御所櫻堀川夜討」にして一同大車輪にて御覽に供すべしと云ふ



昨日に引續き新町遊廓の噂を御披露致すべく候▲第一樓の式部は此の頃の披露に加へて掾も左したることなく候も一得一失とでも申す可きか客の取扱ひ非常に親切なる由に候ならば一度御試しなさる可く候▲倚は同樓の紫郎は如何なる故にや愛國婦人會の醜名を有するとの事に候理由は詮議の限りに無之候▲大桝屋のうどん女郎白糸は七箇月間續けて御職を張り通したるに此の月丈けは唯つた一箇の違ひにて此の地位を銀島に奪はれ殘念に思ひ居るとの事に候御尤もの次第なれども要する勉強の足らざりし故なるべく候▲同樓の若竹は○○局の好さんのれ便りがないので煩悶致し居候▲音羽は或る新聞で一度脅迫女郎と素葉拔かれての故にや謹愼して客に對し金のかの字も話さぬとの事に候▲南山樓の富榮は餘り威張り過ぎて客受け宜しからざる由に候▲曩に廢業せし同樓の小梅は郷里橫濱には歸らず毎夜芝居見物などゝ洒落居り申候孰れ再勤致す都合なるべく候▲濟進樓の愛助は負傷全治再び戰線に其赤襷旗を翻へし既に戰鬪に取りかゝりし由に御座候▲餘は聞に從ひ御報申上ぐべき都合に候（郎雀）

木村一座の藝風（三）

▲老役と三尺が適る
▲女優君子の急進歩

木村は元來器用な性とて一度び正劇の畑に足を入れて以來、如何なる役を引受けても無難に演つて居る是れは彼れが常に座長として地方を巡業する爲め止むなく多方面に渉つたのであらふ、されば廣く役を仕分るだけ當時の同癖喜多村、藤澤、村田等よりは專問的に於て幾分か遜色なき能はざるも彼れにして雜炊的持役を改め一二專問の役に熱中しなば依然第一流として中央の舞臺に出ても耻ずる處はない、而して今彼れが專問的に持役を求むるとせば第一が老役で次が三尺である彼れが近頃得意として演つて居る川島武雄抔は以ての外で、ある柄に無い事をするのが彼れの盛々相場を狂はす所以である、己が罪の作兵衞や一昨夜演つた幸兵衞抔は確かなものだ、又三尺るど云ふのはノベツにズル辯が如何にも陽氣で所嫌はす遊人抔には持て來いである、大体臺辭さへ言へば陽氣になつて舞臺が調子附いて來る、惡く言へば騷々しいとか擾き廻はすとでも云はふが、此れが又抑々三尺物に都合の宜しい處である、兎に角多年の効はバリ出ると場面が引締まつて看物の視線は一齊に彼れに集まる、彼れも又矢張り新派中の大立物に相違ない。

次に彼れは時世が女優を要求するを見て取り妻女君子を女優に仕立てた、君子は元大坂とか神戸とかの藝妓であつたそうで、踊りや唄の素養があるだけ舞臺の成功も早い、俳優になつてまだ九三年だそうだが、最早一廉の立女形として立て行ける、一昨年來た時は何んとなく舞臺が落ち附かず表情抔もホンの形式に演ると云ふ鹽梅であつたが今ではドウして中々表情の砂味を覺り舞臺も落附き、殊に容姿の艶麗なるは一層引立つて見へる、木村優が苦心して仕込んだ効全く空しからずだ、併し餘り仕込みに熱中して加藤瀧三郎の唉子に於けるが如くにならぬ用心こそ肝要、尤も加藤と木村とは段が違ふイヤ飛んだ老婆心を出しよつた、怒こつちや嫌だよ。

今日の運勢

五月七日 舊三月廿七日 ●九紫 大安 壬申 平 △一白● 排濟又は邪魔有り交際取引上注意すべし金談旅行見込なし△二黑● 通達の日仕官就職相談等効多し攝養保健に注意すべし△三碧● 盛運なるも勢に乘じ若くは浮誇過ちあり盜害橫領防ぐべし△四綠● 寧福の日なり農業及事業始めに尤も妙家庭內の事小累あり△五黃● 亭通の日相談婚姻就職仕官共同協力の事好し遺失の難あり△六白● 妨碍多し新事及談判相談婚姻貸借に忌む建築土木には吉△七赤● 不快の日なり新事及裁判相談事凶盜害橫領防ぐべし△八白● 會心の日なり大抵吉披露命名祝典開店開業に尤も良し建築動土に凶△九紫● 謹愼の日なり取引證券の事注意すべし鑛山及金屬の業に尤も凶（本町五三一舘判斷）

●天氣豫報

自六日午後六時 至七日午後六時

北東風晴後曇

五日（華氏） 最高溫度 七〇、九 最低溫度 四五、五

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九

ゑり徳商店

廣告

韓國土産話

甲、當地には良い貨はありませんね所々の貨屋で買つて見たがだめです

乙、日希商會へ行つて見ましたか彼店には良いのがありますよ

甲、そーですか、何處です、

乙、あいご‼ 日希商會を御存じないの？本町二丁目の西洋人の貨店を？晩に本町を散歩すると何人でも直に氣が付く筈ですがねあの日韓書房の筋向の…火を消したり燈けたり絶ずして居る電燈廣告の付けてある店です

彼の店で賣るEDP印埃及金口貰が此地の貨界でのまー大王でしよー、私も彼店で久しく買つて居るが貨が良くて割安で一番良いです是非一度行つて喫んで御覽なさい

訴訟非訟登記戸籍上の變更訂正諸願契約起案諸會社定欵作成其他諸般の代書

右者拾數年の經驗と精實さを以て迅速に依頼者の滿足を旨とし事の大小難易を問はず自ら其衝に當り極力成効を期す

京城裁判所前向

池田事務所

內科 小兒科 入院隨意

京城日の出町小學校前

電話九百四十番

多々見醫院

前大韓醫院醫官兼同附屬醫學校教授

從七位勳六等醫學得業士 院主 多々見五郎

はりやいとう電氣マッサージ

龍山新市街柳町一丁目（電話六四二）

中口由治

足袋 醬油

麻裏和洋酒雜貨販賣

龍山元町三丁目（電話三二九番）

中谷商店

絃齋流割烹に歌舞伎辨當

京界に於ける弊店の特色に有之候材料の豐富と技倆の熟練は割烹

南山町一丁目（電話一五〇二番）

すし津祢

出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可爲申候

金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は町庫に取扱極めて安全に一定の場所に保管す

京城 蹯町

大槻商行質部

流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し高還濟なきを期す

電話一一八二番

民刑訴訟鑑定及書類の作成

登記證明査證諸願届の代書

測量製圖設計

法律の質疑應答通信鑑定

事の大小難易を問はず依頼者の便益を謀り正確迅速を旨とし凡て當務所主實任を以て親切に事務を扱ふ京城鍾路通り裁判所前西入小路

電話一六八九番 安藤事務所

中央大學法學士 安藤加一

素人球技大會

開會 來る五月八日・七日・六日 三日間

京城南山町四丁目

會場 巴州亭玉塲

會費金壹圓五拾錢

賞品 壹等 金メダル 改元金壹圓 百圓奬勵券

貮等 米國ウヲルサーム十二サイズ無双金時計

以下十等迄其他特別賞寄贈品等も有之候

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

諸官衙御用

京城本町六丁目 電話百拾番

播本商店

假移轉廣告

弊店儀今般業務擴張の爲め新築致候に付工事中左記の處へ移轉し營業仕候間此段謹告候也

京城本町二丁目（從來營業所向側西へ十一軒目）

和洋金物商

佐野彦商店

電話一六三番 振替韓國一二〇番

東京足袋

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

本店 東京

京城大和町一丁目（日の出橋際）

大和屋

藤井出張店

明治町勸商場内二五番 電話二百〇五番 二モ出張店アリ

諸荒物世帶道具一切

其他和洋蠟燭 アサヒビール サッポロビール 精白米

右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候

日用雜貨卸問屋

京城本町六丁目

西崎嘉七本店

電話二〇一番（二九） 振替貯金口座韓七番

旅館

京城南山町三丁目

京城ホテル

電話長一二三番 四九二番

日本室和食

特等（壹圓五十錢 三圓）

一等（壹圓五十錢 二圓）

二等（壹圓二十錢 八十錢）

三等（壹圓 六十錢）

名物し道樂

鯛松たけめし 一人前三十錢

あなご 竹の子めし たなしく

鷄 ゑんどうめし たなじく

出前も仕ります

豫てなじみの大阪美人、御光來の程ちかね居りますから、御賞味を賜はりたし、肴は多少によらず出前も仕ります、與々も御用命伏して御願申上げます

大和町三丁目

梅の家眞向ひ

電話七三三番

明月

明治廿年七月創立

東京海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓 本務所 京城代辨店 本町四 山口與服店 電話九番

京城南大門通三 電話一〇六〇

金魚各種卸小賣

陸軍御用達

龍山山下町一丁目（兵器支廠官舍入口）

馬木勇吉本店

電話三六四番

茶器商

京城本町五丁目一番戸角

馬木勇吉支店

電話四七一

諸官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類

委託販賣

東京ランバート商會代理店

東京中外アスファルト株式會社代理店

東京千代田生命保險相互會社代理店

京城博文館發行書籍特約店

京城金港堂發行書籍特約店

合資會社

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話三〇番）

出張所 京城南大門通三丁目 電話一九六番

廣告

各科診療

南山町二丁目

松岡醫院

電話六七五番

入院隨意

消毒牛乳（保證附）（新鮮）（乳油）フレッシュバター

韓國畜産株式會社

南大門外 電話八八〇番

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾五萬圓

株式會社 十八銀行 京城支店

韓國

本店 長崎

支店 仁川 木浦 群山 元山

出張所 大邱 鎭南浦

其他日本、韓國、極東地方に爲替取引先あり

浦鹽に支店あり

貯蓄預金 取扱其他一般銀行の業務も取扱ふ

長崎貯蓄銀行代理店

京城支店

株式會社 百三十銀行 京城支店

京城本町二丁目 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、西京、神戸、奈良、和歌山、堺、伏見、兵庫、神戸

東海道 名古屋、岐阜、静岡、濱松、四日市、津

東山道 ……

北陸道 ……

山陰道 ……

山陽道 ……

南海道 ……

西海道 ……

北海道 ……

台灣 臺北、臺南

滿洲 大連、旅順、營口、奉天

銀行一般業務精々便利取扱可申候

本店開業拾五ヶ年祝

弊堂開業以來十五ヶ年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならず一層御引立の程偏に奉願上候就ては此際記念として御愛顧に酬ひん爲め販路擴張の目的にて左記の通り

「タバン懷中時計三千個」及「アンソニヤ掛置時計三百個」を限り四月一日より九月三十日迄本社の卸價格を以て何方樣へも御直段にて販賣致します

瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店

米國ウヲルサム時計韓國特約販賣店

米國アンソニヤ掛時計韓國代理店

仁川本町 電話七〇五番

時計卸商 喜多金光堂本店

京城本町二丁目 電話一〇五番

時計卸小賣 喜多金光堂支店

京城本町一丁目 電話

右特約店 金化堂時計舖

京城本町四丁目角

右特約店 中村時計店

各地方より御注文に應ず

內外科 花柳病 入院隨意

京城南大門外

電話九三八番

戶田病院

神戸實生分院

京城梅毒病院

京城相生町（南門外）

花柳病專門 並 痔（注射療法）

入院隨意

電話一二九四

院長 醫學得業士 嘉田

印章彫刻 ゴム印彫刻

京城本町四丁目

赤帽子號印舖

諸官衙御用達

電話九三番

奥野岩太郎

特約販賣 自製

味噌醬油製造元 漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

支那白菜漬 朝鮮菜葉漬 大賣出し

電話二一五一番

今般左記へ移轉し從來の業務一層精實且つ迅速を旨とし貴需に應じ可申候

移轉擴張

京城本町一丁目（民團役所前）

代書 測量 仲介

衛藤事務所

（電話七〇五番）